

2017.1.14

「猿のお尻が赤くなったのは」

作：春風ルカ

(元の昔話は「火正月」からです)

- 昔昔、身なりの粗末な旅の坊様が、
× ウン
- 村の金持ちの屋敷に一夜の宿を頼みました
× ドウダッタ?
- 「汚い者には貸す部屋は無い」と断った
× ソウナノ
- しかたないので、隣のあばら家に住む
× ウン
- 老夫婦に声をかけました
× 「イロリノ ヒシカナイガ ドウゾ」
- 翌朝に、坊様は「お礼をしたい」と言いました
× イリマセン
- 遠慮せずに言ってください
× ハイ、18 サイコロニ ワカガエリタイ
- 判った。私が去った後に井戸の若水を浴びなさい
× ジャブーン
- 不思議、老夫婦が 18 の青年と乙女になった
× ビックリ
- その話を聞いた金持ちは、坊さんを追いかけた
× オマチ クダサイ ヨイヘヤガ アリマス
- むりやり屋敷に連れ込み、坊様に寝る時間も与えず
× ワシラモ ワカガエラセテ クダサイ
- 「勝手に、湯を沸かして浴びろ」と返答をした
× ジャブーン
- 不思議、若返らずに全身毛だらけのサルになった
× ウキー
- 猿になったので山に走って行ってしまいました
× イナクナッタノネ
- そう、そこで坊様は若返った二人を屋敷に呼びよせ
× ハイハイ
- 「お前たちが住むが良い」と言ってまた旅立った
× メデタシ メデタシ

- ところが、困ったことに
- × ウン
- 屋敷には毎日のようにサルが入り込んできて
- × ワシノ イエ カエセ キッ、キッ、キー
- うるさくさわぐのです
- × コマッタノ一
- そんなある夜、夢まくらにあのお坊さんが現れて
- × ウン
- こう教えてくれました
- × ナンテ?
- 「サルがすわる庭石を、熱く焼いておきなさい」
- × ハイ、ソウシマス
- そして次の日
- × ワシノ イエ カエセ キッ、キッ、キー
- そうとは知らないサルが、いつものように庭石に
- × ペタン
- お尻をおろすと
- × ウキー！ キッキー
- お尻をやけどして、山へ逃げていってしました
- × サルガサル
- おサルのお尻が赤くなったのはそれからです
- × ヘー ソウダッタノカ